

(令和3年1月試験研究業務月報)

試験研究課題：ホンダワラ等有用海藻類の増養殖技術に関する調査

情報

## 養殖アカモクの収穫が始まりました

養殖アカモクの生産拡大に向け、当センターで生産した種苗を昨年10月から11月にかけて配付しました。

養老（宮津市）、舞鶴（舞鶴市）の両地区ともにアカモクの生育及び生残は良好で、今月に実施した状況確認の結果、2月には本格的な収穫、出荷が可能と判断されました。

昨年の収穫量（約16トン）に比して、本年は大幅な増加が見込まれることもあり、漁業者、漁協では、1月中の早期収穫と試験的な販売などにも取り組まれています。早期収穫のアカモクは、特有のねばりは少ないものの、柔らかく歯ごたえの良い食感を生かした新たな用途の開拓が期待されています。

養殖アカモクを地域の特産物として定着させるため、当センターでは種苗生産の安定化と養殖技術向上を図るとともに、普及組織と連携して、安定した販路の開拓と漁業者の収益向上に、引き続き取り組んでいきます。



本年1月に確認した養殖アカモクの状況（水中写真とドローンによる空撮：養老地区）